

各 位

2020年7月27日
株式会社インプレス

最短で相手の決断を引き出す最強のメソッド
『Pitch ピッチ 世界を変える提案のメソッド』
を7月27日に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、最短で相手の決断を引き出す「ピッチ」の作り方と、その背景にあるビジネス創出のメソッドを凝縮した書籍『Pitch ピッチ 世界を変える提案のメソッド』を2020年7月27日（月）に発売いたします。



■最短で相手の決断を引き出す「Pitch（ピッチ）」の作り方

シリコンバレーではじまった、スタートアップが多忙な投資家から資金提供を受けるために短時間で行うプレゼン、それが「ピッチ」です。従来のプレゼンとは異なり、相手の予備知識や環境などの条件が整っていない中でも、「その場で相手の決断を引き出す」ことをゴールとしています。本書は、日本初のスタートアップ・アクセラレーターであるOpen Network Lab（オープンネットワークラボ：オンラボ）が、日本のスタートアップを支援する中で、積み重ねてきたピッチのノウハウを紹介しています。

■オンラボ独自のビジネス創出のメソッドを一冊に凝縮

本書ではまず第1章で、「ピッチとは何か？」を解説。第2章では、オンラボのデモデイ（3か月間のプログラムの締めくくりに、投資家を招待して行うピッチイベント）で実際に発表されたスタートアップのピッチ資料を提示しながら、作り方・見せ方のポイントを丁寧に解説しています。

また、第3・4章では、投資家の決断を引き出す説得力あるピッチを作るために欠かせない、「誰のために」「どんなビジネスを」「どうやって」作るのかといったビジネスの結晶化について、これまで多くのスタートアップを支援し育ててきたオンラボ独自の、ビジネス創出のメソッドを解説しています。

■オンラボ卒業生のスタートアップ11社が登場

第5章では現在、若手実業家として活躍する、giftee（ギフティ）・SmartHR（スマートHR）・小児科オンラインのインタビューを掲載しています。また各章末のコラムでは、オンラボ卒業生たちのエピソードを紹介しています。

〈登場するスタートアップ一覧〉（順不同）

SmartHR

Cansell

precal（プレカル）

ラクマ（旧 FRIL）

小児科オンライン

Qiita

giftee

WHILL

カラバト

ロジクラ

PIRIKA

〈本書はこんな人におすすめです〉

- ・起業家を志す人、学生
- ・企業の新規事業担当者

■紙面イメージ

第 2 章 | スタートアップがピッチで「人を動かした」事例

図2-25 プレカル:チーム



「ビジネスとして成立させるための要素は何か?」を押さえる / 資料:プレカル提供

スを中心とするシステムによって改善でき、さらに顧客となる経営者が必要とするものを理解できなければなりません。その全ての要素(経営+薬剤師+エンジニア)をこのチームが備えていることを、このスライドは示しています。

演出として、薬剤師の3人には白衣を着たにこやかな写真を使っています。文字を読まなくてもひと目で伝わり、強く聞き手の印象に残るように、シンプルなビジュアルにも工夫が感じられます。CEOの大須賀善輝さんはピッチに登壇する際も白衣を着用するなど、その演出は徹底していました。

図2-24 プレカル:オープニング



スタートアップが行ってきたピッチの数々を、そのポイントとともに紹介しています

課題から事業を作らないと うまくいくわけがない

人が欲しいと思うものをつくる

株式会社スマートHR代表取締役の宮田昇始さんに、オンラボでの経験やスタートアップに大切な考え方についてお話しいただきました。



Onlab代官山コワーキングスペースにて宮田さんと共同創業者内藤さん
写真: SmartHR提供

——オンラボで得たものがあつたら教えてください。

宮田 事業は、誰かが抱えている課題、現実世の中にある課題から作らないとうまくいくはずがない、と学んだことです。オンラボで真ッ先に言われたのが「あなたたちは、ユーザーの声を聞いていない」ということでした。「本当にユーザーはそのプロダクトを欲しがっているの？ ユーザーが抱えているのはどんな課題？」と聞かれて、「○○だと思えます」と答えました。そうしたら「だ」と思う、ということは、ユーザーの声を聴測しているだけで、インタビューをしていないのでは？」と指摘されました。実際したことがなくて、インタビューしてはじめて、自分たちが考えていた課題が現実には存在しないことがわかったんです。誰かの課題、世の中の課題から事業を作る、という大切なことに気づかされました。

——オンラボに参加して、一番うれしかったことは？

宮田 デモデイで最優秀賞に選ばれたことです。他のチームは応募の際のプロダクトですつと勝負していましたが、ぼくらは途中でピボットして一旦ゼロになり、同期で最下位のような存在になってしまった。しかし最終的に投資家たちにアピールすることができました。実は共同創業者と、オンラボで事業が軌道に乗らなかつたら会社を畳もうかと話していたんで

| 199 |

| 198 |

オンラボ卒業生で、若手起業家として活躍する方々のインタビューも掲載しています

■書籍の詳細



書名: Pitch ピッチ 世界を変える提案のメソッド

著者: Open Network Lab

発売日: 2020年7月27日 (月)

ページ数: 240ページ

サイズ: 四六判

定価: 本体1,600円+税

電子版価格: 本体1,600円+税 ※インプレス直販価格

ISBN: 978-4-295-00913-9

◇Amazonの書籍情報ページ:

<https://www.amazon.co.jp/dp/429500913X/>

◇インプレスの書籍情報ページ:

<https://book.impress.co.jp/books/1119101115>

■著者プロフィール

Open Network Lab (オープンネットワークラボ)

Open Network Lab (通称 Onlab オンラボ) は、デジタルガレージが運営する日本初のスタートアップ・アクセラレーターです。「グローバルで活躍する起業家の育成・支援」を目的に 2010 年 4 月より活動しています。これまでに日本・米国をはじめとする世界の様々な国や地域のスタートアップから累計 1,000 チーム以上の応募がありその中から述べ 150 社以上ものスタートアップに投資し、事業支援を行ってきました。スタートアップの為に短期集中型アクセラレータプログラムの運営や会社経営における最先端のノウハウを持つスペシャリストを招いたメンタリングなどを通じて、スタートアップが成長・成功するための最高の環境を目指しています。

■目次

- 第1章 ピッチとは何か？
- 第2章 スタートアップがピッチで「人を動かした」事例
- 第3章 ピッチで人を動かすために／アイデアの具体化
- 第4章 ピッチの組み立て方
- 第5章 オンラボ卒業生インタビュー
- 第6章 未来を切り拓くピッチ

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、及びデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証1部 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」「学術・理工学」「旅・鉄道」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

TEL：03-6837-5034 E-mail：pr-info@impress.co.jp URL：<https://www.impress.co.jp/>